

98 番の歌 聖書は神の言葉

ヤコブの臨終の預言から学べること パート 1

「みんな集まりなさい。最後の日々にあなたたちに起きる事柄を話そう」。創世記 49:1

ポイント：ヤコブが亡くなる前にルベン，シメオン，レビ，ユダについて語った預言から学べることを考えます。

1-2. ヤコブは亡くなる前に何をしましたか。どうしてですか。（挿絵も参照。）

年老いたヤコブが家族と共にカナンからエジプトに来て、17年ほどがたちました。（創 47:28 ヤコブはエジプトで 17 年生きた。ヤコブの生涯は 147 年だった。）ヤコブは愛する息子ヨセフと再会し、家族みんなでまた一緒に暮らせるという、とてもうれしい経験をしました。でも今、ヤコブは自分の死が近いことを感じて、家族みんなを集めて大切なことを伝えます。（創 49:28 イスラエルの 12 部族がこれらの人から生まれた。父は彼らのために祝福を願い求めた時に以上の事柄を語った。一人一人にふさわしい祝福だった。）

2 当時は、家長が亡くなる前に家族を集めて大切な指示を与えることが一般的でした。（イザ 38:1 その頃、ヒゼキヤは病気になり、死にそうになっていた。アモツの子である預言者イザヤが来て言った。「エホバはこう言っています。『家人たちに指示を出しなさい。あなたは回復せず、死ぬからだ』」。）その時に、次の家長が誰になるかを伝えることもありました。



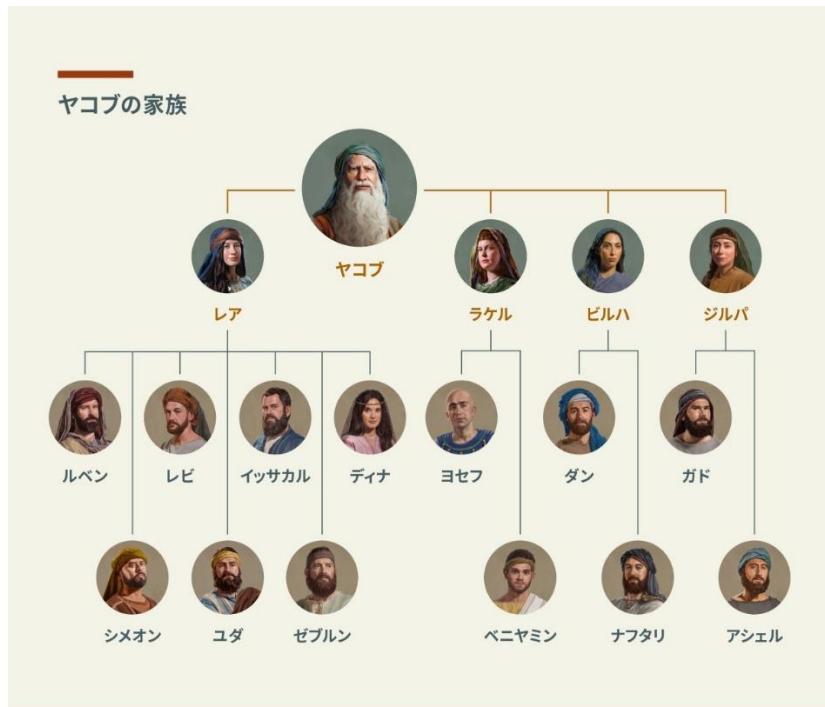
ヤコブが死の間際に、12人の息子に預言を語っている。（1-2 節を参照。）

3. 創世記 49 章 1, 2 節によると、ヤコブの言葉が特別だったといえるのはなぜですか。

3 創世記 49:1, 2 ヤコブは息子たちを呼んで、言った。「みんな集まりなさい。最後の日々にあなたたちに起きる事柄を話そう。」ヤコブの息子たち、集まって聞きなさい。父イスラエルの言葉に耳を傾けなさい。を読む。これはただの家族の集まりではありませんでした。ヤコブは預言をしていたからです。エホバの聖なる力に導かれて、息子たちと子孫に起きる重要な出来事について話しました。それで、この時ヤコブが語った言葉は臨終の預言と呼ばれています。

4. どんなことに注目しながらヤコブの臨終の預言について学ぶとよいですか。（「ヤコブの家族」の図みも参照。）

4 この記事では、ヤコブが4人の息子のルベン、シメオン、レビ、ユダにどんなことを言ったかに注目します。次の記事では、ほかの8人の息子に語ったことを取り上げます。ヤコブは、息子たちだけでなく、子孫についても話していました。その子孫はやがて大きなイスラエル国民になりました。①イスラエルの歴史を振り返ると、ヤコブの預言がその通りになったことが分かります。また、②ヤコブの預言を調べると、どうすればエホバに愛される人になれるかも学べます。



ルベン

5. ルベンは父親から何をもらえると期待していたかもしれませんか。

5 ヤコブはまずルベンにこう言います。「あなたは私の長男」。（創49:3 ルベン、あなたは私の長男、私の活力、私の生殖力が初めに生み出したもの。秀でた威厳と秀でた力があった。）長男だったルベンは、①弟たちの2倍の財産をもらえると期待していたことでしょう。また、②自分が家長になって、その立場を代々子孫に受け継がせていくける、とも考えていたはずです。

6. ルベンが長男の権利を受け継ぎなかったのはどうしてですか。（創世記49:3, 4）

6 でも、ルベンは長男の権利を受け継ぐことができませんでした。（代一5:1 以下はイスラエルの長男ルベンの子についてである。長男ルベンは父のそばめと寝た(d*のベッドを汚した)ため、長男の権利がイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。それで、系譜には長男の権利を持つ者としては記録されていない。）どうしてでしょうか。ヤコブのそばめのビルハと性関係を持ったからです。性的な衝動に駆られたのかもしれません。ほかの理由も考えられます。ビルハは、ヤコブの亡くなった最愛の妻ラケルの召し使いでした。（創35:19 こうしてラケルは死に、エフラトつまりベツレヘムに向かう道のそばで葬られた、22 イスラエルがそこに滞在していた時、ルベ

ンは父のそばめビルハの所に行ってビルハと寝た。イスラエルはそのことについて聞いた。ヤコブの息子は12人だった。) ルベンはそのビルハと関係を持てば、ヤコブはビルハを嫌うようになり、自分の母親のレアを愛してくれる、と思ったのかもしれません。いずれにしても、ルベンがしたことはエホバにとってもヤコブにとっても、とても悪いことでした。 (創世記49:3, 4 ルベン、あなたは私の長男、私の活力、私の生殖力が初めに生み出したもの。秀でた威厳と秀でた力があった。4だが、荒れ狂う水のように奔放なため、秀でることはない。父のベッドに上がったからだ。あの時、あなたは私のベッドを汚した。そこに上がったのだ。を読む。)

7. ルベンと子孫はどうなりましたか。 (「ヤコブの臨終の預言」の囲みも参照。)

7 ヤコブはルベンに「[あなたは]秀でることはない」と言いました。その言葉の通りになりました。ルベンの子孫が王や祭司や預言者になったとは、聖書に書かれていません。とはいって、ルベンはヤコブから見限られたわけではありませんでした。子孫はイスラエルの部族の1つになり、相続地を与えられました。 (ヨシュ12:6 エホバに仕えたモーセとイスラエル人が彼らを打ち破った。その後、エホバに仕えたモーセは彼らの土地をルベン族とガド族、マナセ族の半分に所有地として与えた。) ルベンは間違いをしたとはいえ、良いこともしました。また、ルベンが再び性的に不道徳なことをしたという記録はありません。 (創37:20-22 さあ、あいつを殺してどこかの貯水穴に投げ込んでやろう。どう猛な野獣に食い殺されたと言えばいい。あいつの夢がどうなるか、見てやろうじゃないか)。 21 ルベンはこれを聞き、ヨセフを助けようとして、「命を奪うのはやめよう」と言った。 22 ルベンはさらに言った。「殺してはいけない。荒野のこの貯水穴に投げ落とすといい。でも危害を加えてはいけない」。ヨセフを助け出して父の所に帰らせようとしていたのである。; 42:37 ルベンが父に言った。「もし私がベニヤミンを連れて帰らないなら、私の2人の息子の命を取って構いません。彼を私に任せてください。必ず連れて帰ります」。)

ヤコブの臨終の預言

息子

ルベン

預言

「[あなたは]秀でることはない」。 (創49:4 だが、荒れ狂う水のように奔放なため、秀でることはない。父のベッドに上がったからだ。あの時、あなたは私のベッドを汚した。そこに上がったのだ。)

実現

ルベン族がイスラエルの中で指導者になることはなかった。 (代一5:1, 2 以下はイスラエルの長男ルベンの子についてである。長男ルベンは父のそばめと寝た(d*のベッドを汚した)ため、長男の権利がイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。それで、系譜には長男の権利を持つ者としては記録されていない。2 ユダはほかの兄弟たちよりも勝っていて、指導者になる者がユダから出たが、長男の権利はヨセフのものだった。)



8. ルベンに起きたことから何が学べますか。

8 学べること。私たちは間違った欲望と闘い、性的に不道徳なことを一切避ける必要があります。誘惑に負けそうになったら、エホバや家族や周りの人をどれほど悲しませることになるのか、よく考えましょう。「人は自分がまいているものを必ず刈り取ることになります」。(ガラ6:7) 思い違いをして(*だまされて)はなりません。神はご自分を侮る者を大目に見ることはできません。人は自分がまいているものを必ず刈り取ることになります。) ルベンに起きたことから、エホバの憐れみについても学べます。エホバは私たちが何か良くないことをした時、そのつらい結果を味わわぬで済むように守ったりはしません。でも、私たちが正しいことをしようと努力するなら、エホバは許して必ず支えてくれます。

シメオンとレビ

9. ヤコブがシメオンとレビに厳しいことを言ったのはどうしてですか。(創世記 49:5-7)

9 創世記 49:5-7 シメオンとレビは兄弟。武器を用いて暴力を振るう。6 私が彼らの仲間になることがありますように。私(if*私の心の傾向/d私の栄光)が彼らの集いに加わりませんように。彼らは怒りに任せて人を殺し、雄牛の膝のけんを切って楽しんだからだ。7 彼らのひどい怒りと激しい憤りは、災いを受けよ。彼らをヤコブの中に追い散らし、イスラエルの中に散らそう。を読む。次に、ヤコブはシメオンとレビに厳しいことを言います。話は、娘のディナがシェケムというカナン人の男性にレイプされた時にさかのぼります。息子たち全員がそのことに激怒しました。それでシェケムと町の人たちに、割礼を受けるなら同盟を結ぶという約束をし、みんなそれに同意しました。でもシメオンとレビは腹を立てただけでなく、怒りを爆発させ、暴力に訴えました。町の人たちがまだ割礼の痛みに苦しんでいる時に、2人は「それぞれ剣を取って町に入りました。こう書かれています。「町の人々は何の警戒もしておらず、2人は男たちを皆殺しにした」。(創 34:25-29)ところが、3日目のこと、その人たちがまだ痛みに苦しんでいる頃、ヤコブの2人の息子でディナの兄であるシメオンとレビは、それぞれ剣を取って町に入った。町の人々は何の警戒もしておらず、2人は男たちを皆殺しにした。26 2人はハモルと息子のシェケムも剣で殺した。それからディナをシェケムの家から連れ出し、そこを離れた。27 ヤコブのほかの息子たちも、殺された人たちの所にやって来て、町の物を略奪した。妹を汚されたからである。28 羊、牛、ロバ、町や野原にあった物を全て奪った。29 人々の所有物を全て奪い、小さな子供や妻たちを皆捕らえ、家々にあった物を残らず強奪した。)

10. ヤコブがシメオンとレビについて語った預言はどのように実現しましたか。(「ヤコブの臨終の預言」の囲みも参照。)

10 ヤコブはシメオンとレビがしたことによても心を痛め、2人がイスラエルの各地に散らされる、と予告しました。この預言は、200年以上後にイスラエル国民が約束の地に入った時に実現しました。シメオン族は、ユダ族の領地に点在する土地を相続地としてもらいました。(ヨシュ19:12 番目のくじはシメオンのため、シメオン族の氏族のために出た。彼らの土地はユダの土地の中にあった。) レビ族にはイスラエル各地の48の町が与えされました。(ヨシュ 21:41 イスラエル人の所有地の中にあるレビ族の町は全部で48の町とその牧草地だった。)

ヤコブの臨終の預言

息子

シメオン

預言



「彼らをヤコブの中に追い散ら[そう]」。 ([創 49:7](#) 彼らのひどい怒りと激しい憤りは、災いを受けよ。彼らをヤコブの中に追い散らし、イスラエルの中に散らそう。)

実現

シメオン族の相続地はユダ族の領地に点在していた。 ([ヨシュ 19:1-8](#) 2番目のくじはシメオンのため、シメオン族の氏族のために出た。彼らの土地はユダの土地の中にあった。 2彼らの土地は、ベエル・シェバおよびシェバ、モラダ、3ハツアル・シュアル、バラ、エツエム、4エルトラド、ベトル、ホルマ、5チクラグ、ベト・マルカボト、ハツアル・スサ、6ベト・レバオト、シャルヘン。13の町とその周りの集落。7アイン、リモン、エテル、アシャン。4つの町とその周りの集落。8これらの町の周囲にある全ての集落、バアラト・ベエル、南のラマまでの集落。これが、シメオン族の氏族が相続していく土地だった。)

息子

レビ

預言



「彼らを……イスラエルの中に散らそう」。 ([創 49:7](#) 彼らのひどい怒りと激しい憤りは、災いを受けよ。彼らをヤコブの中に追い散らし、イスラエルの中に散らそう。)

実現

レビ族はイスラエルの中の48の町に散らされた。 ([ヨシュ 21:41](#) イスラエル人の所有地の中にあるレビ族の町は全部で48の町とその牧草地だった。)

11. シメオン族とレビ族はどんな良いことをしましたか。

11 シメオンの子孫もレビの子孫も、先祖たちと同じ過ちを繰り返しませんでした。 レビ族の人たちはエホバだけを崇拝し続けました。モーセがシナイ山でエホバから律法を与えられた時、多くのイスラエル人は子牛崇拝に関わってしまいました。でも、レビ族の人たちはモーセと一緒に、清い崇拝を守るために断固とした行動を取りました。 ([出 32:26-29](#) モーセは宿営の門の所に立て、言った。「エホバの側にいるのは誰ですか。私の所に来なさい！」 するとレビ族が皆モーセのもとに集まつた。27 モーセは彼らに言った。「イスラエルの神エホバはこう言いました。『各自、剣を帶びて、門から門まで宿営の至る所を回り、自分の兄弟、隣人、友人を殺しなさい』」。28 レビ族はモーセが言った通りにし、その日約3000人の男性が殺された。29 モーセは言った。「今日、エホバへの奉仕のために自分を取り分けなさい。皆さんは自分の子や兄弟に向かっていきました。神は今日、皆さんに祝福を与えてくださいます」。) エホバはレビ族を選び、祭司という特別な役割を与えました。 ([出 40:12-15](#) アロンとその子たちを会見の天幕の入り口の近くに連れてきて、彼らの体を水で洗いなさい。13 アロンに聖なる服を着せ、油を注いで彼を神聖なものとする。こうして彼は祭司として私に仕える。14 それからアロンの子たちを近くに

連れてきて、長い服を着せる。 15 父アロンに油を注いだのと同じように彼らにも油を注ぐ。こうして彼らは祭司として私に仕える。このように油を注ぐことで、代々ずっと祭司職がアロンの子たちに与えられる」。[民 3:11, 12](#) エホバは続けてモーセに言った。 12 「さあ、私はイスラエル人の中からレビ族を取ってイスラエル人の長男の代わりとする。レビ族は私のものとなる。」約束の地を征服する時、シメオン族はユダ族と一緒に勇敢に戦い、エホバが望んでいる通りに行動しました。（[裁 1:3](#) ユダ族は兄弟であるシメオン族に言った。「私たちに割り当てられた領地と一緒に来て、カナン人と戦ってください。私たちも皆さんに割り当てられた領地と一緒に行きまます」。シメオン族はユダ族と一緒に行った、[17](#) ユダ族は兄弟であるシメオン族と共にさらに進軍し、ツェファトに住むカナン人を攻めて、そこを滅ぼし尽くした。その町はホルマ([m*滅ぼし尽くすこと](#))と名付けられた。）

12. シメオンとレビの例からどんなことを学べますか。

12 学べること。怒りに任せて行動することがないようにしましょう。自分や家族がひどい扱いを受けると、怒りを感じるのは自然なことです。（[詩 4:4](#) 心を乱されるとしても、罪を犯してはならない。言いたいことは寝床で心の中で言い、黙っていよ。）でも、腹立ち紛れに何かを言ったりしたりすることをエホバは喜びません。（[ヤコ 1:20](#) 怒りの気持ちからは、神が求める正しさは生まれません。）周りの人や兄弟姉妹から理不尽なことをされても、聖書が教えている通り、怒りをコントロールすれば、感情的になって相手を傷つけるようなことをしないで済みます。（[口マ 12:17](#) 悪いことをされても、決して仕返しをしてはなりません。どうすれば誰の目から見ても良いことを行えるかを考えてください、[19](#) 愛する皆さん、復讐してはなりません。神の憤りに任せましょう。「『復讐は私がすることであり、私が報復する』とエホバは言う」と書いてあるからです。[ペテー 3:9](#) 傷つけられたり侮辱されたりしても、仕返しをしてはなりません。かえつて、相手に親切にして(*のために祝福を願って)ください。皆さんはこうした道に招かれたからです。この通りにすれば、祝福を受けるでしょう。）たとえ親がエホバを悲しませるようなことをしていても、あなたは正しい生き方を選擇します。どんなに頑張ってもエホバに喜んではもらえない、とは考えないでください。正しいことをしようと努力するあなたを、エホバは必ず助けてくれます。

ユダ

13. ユダが父親の言葉を聞く時、不安に思ったかもしれないはどうしてですか。

13 次に、ヤコブはユダに語り掛けます。ユダは兄たちが父親から言われたことを聞いて、不安になったかもしれません。自分も大きな間違いをした心当たりがあつたからです。例えば、シェケムの町の略奪に関わっていました。（[創 34:27](#) ヤコブのほかの息子たちも、殺された人たちの所にやって来て、町の物を略奪した。妹を汚されたからである。）兄弟たちと一緒にヨセフを奴隸として売り、そのことで父親にうそをつきました。（[創 37:31-33](#) 兄弟たちはヨセフの長い服を取り、雄ヤギを殺して、その血の中にその服を浸した。32 そして、その特製の長い服を父の所に送り、こう伝えさせた。「私たちはこれを見つけました。あなたの子の服かどうか、調べてください」。33 父は調べて、叫んだ。「あの子の服だ！ どう猛な野獸に襲われたのだ！ ヨセフはきっと

と切り裂かれたのだ！」) 息子の嫁のタマルを娼婦だと思って、関係を持ったこともあります。 (創 38:15-18 ユダは彼女を見掛け、すぐに娼婦だと思った。彼女が顔を覆っていたからである。 16 それで道端にいた彼女に近づき、「あなたと関係を持たせてくれませんか」と言った。息子の妻だと分からなかつたのである。彼女は言った。「私と関係を持つために、何を下さいますか」。 17 ユダは言った。「群れの中から子ヤギを送りましょう」。彼女は言った。「それを受け取るまで、何か保証になる物を頂いておけますか」。 18 ユダは言った。「どんな物がいいですか」。彼女は言った。「あなたの印章付きの指輪とひも、お持ちのつえを下さい」。それでユダはそれらを渡して彼女と関係を持った。こうして彼女はユダによって妊娠した。)

14. ユダはどんな良いことをしましたか。 (創世記 49:8, 9)

14 でも、ヤコブが聖なる力に導かれてユダに語ったのは、祝福と褒め言葉だけでした。 (創世記 49:8, 9) ユダ、兄弟たちはあなたを称賛する。あなたの手は敵の首を押さえる。あなたの父の子たちはあなたの前でひれ伏す。 9 ユダはライオンの子。ユダ、あなたは必ず獲物の所から立ち上がる。ライオンのように身をかがめ、身を伸ばした。ライオンを誰があえて起こすだろうか。を読む。) ユダは年老いた父ヤコブの気持ちを深く思いやり、末っ子のベニヤミンをなんとかして助けようとした。 (創 44:18) ユダはヨセフに近づいて、言った。「お願ひです、ご主人さま。どうか、ご主人さまに一言申し上げさせてください。どうかお怒りになりませんように。ご主人さまはファラオのように力のある方です。 30-34 それで、もしこの弟を連れずに父の所に戻るなら、父は弟を自分のことのように愛していますので、 31 弟がいないのを見てすぐに死んでしまうでしょう。白髪の父は私たちのせいで悲しみながら墓(c*へ語シェオル)に入ることになるのです。 32 私は父に、弟については私が責任を負うと申し出、『もし弟を連れて帰らなければ、私は一生、父に対する罪を負います』と言いました。 33 ですから、どうか、弟の代わりに私がご主人さまの奴隸として残り、弟は兄たちと一緒に帰れるようにしていただけないでしょうか。 34 弟を連れずに父の所に帰ることなど、どうしてできるでしょうか。父が苦しむ姿は見るに堪えません)

15. ユダについての預言はどのように実現しましたか。

15 ヤコブは、ユダが指導者として兄弟たちを率いると予告しました。でもそれが実現するのは、しばらく先のことでした。聖書の記録によると、ユダ族が初めて先頭に立って行動したのは約200年後のことです。イスラエルがエジプトを出て約束の地に向けて荒野を旅した時、先頭を進んだのはユダ族でした。 (民 10:14) ユダの子たちの宿営を含む分隊がグループごとに最初に出発した。アミナダブの子ナフションがユダ族を率いた。) さらに数十年後、約束の地を征服する時、先陣を切ったのもユダ族でした。 (裁 1:1, 2) ヨシュアの死後、イスラエル人はエホバに尋ねた。「私たちのうち誰が最初に行ってカナン人と戦えばよいでしょうか」。 2 エホバは答えた。「ユダ族が行く。さあ、私はその土地をユダ族に与える(*与えた)」。) また、ユダの子孫のダビデが王になりました。ユダ族の王統は長く続きました。でも、この預言にはもっと大切な意味がありました。

16. 創世記 49 章 10 節の預言はどのように実現しましたか。 (『ヤコブの臨終の預言』の囲みも参照。)

16 ヤコブは、ユダの子孫の1人が人類を永久に統治することを予告しました。（創世記49:10 王笏はユダから離れず、司令官のつえも足の間から離れない。ついにシロ(m*それを持つ者/それが属する者)が来て、あらゆる民が彼に従う。と脚注を読む。）ヤコブがシロと呼んでいるその統治者とは、イエス・キリストのことです。天使はイエスについてこう言いました。「エホバ神は父ダビデの王座を彼に与え[る]」。（ルカ1:32, 33 その子は偉大な者となり、至高者の子と呼ばれます。エホバ神は父ダビデの王座を彼に与え、33 彼は王としてヤコブの子孫を永久に治めます。その王国に終わりはありません。）イエスは「ユダ族の者であるライオン」とも呼ばれています。（啓5:5 しかし、長老の1人が私に言った。「泣くのをやめなさい。見なさい、ユダ族の者であるライオン、ダビデの根である方が征服したので、眷物を開き、7つの封印を解くことができます。）

ヤコブの臨終の預言

息子
ユダ
預言



「王笏はユダから離れ……ない。ついにシロが来[る]」。（創49:10 王笏はユダから離れず、司令官のつえも足の間から離れない。ついにシロ(*)が来て、あらゆる民が彼に従う。）

実現

ユダの子孫のイエスが神の王国の王になった。（ルカ1:32, 33 その子は偉大な者となり、至高者の子と呼ばれます。エホバ神は父ダビデの王座を彼に与え、33 彼は王としてヤコブの子孫を永久に治めます。その王国に終わりはありません。）

17. どのようにエホバに倣えますか。

17 学べること。ユダは大きな間違いを幾つもしましたが、エホバから祝福されました。ユダの兄弟たちは「どうして？」と思ったかもしれません。でもエホバはユダの良いところを見ていました。では、どのようにエホバに倣えるでしょうか。仲間の兄弟姉妹が特別な奉仕をすることになった場合、その人の短所に目が向き、「どうしてあの人人が？」と思うかもしれません。でも、エホバはいつも人の良いところを見ています。私たちも同じようにしましょう。

18. 辛抱して待つことが大切なのはどうしてですか。

18 ユダの例から、辛抱して待つことの大切さも学べます。エホバは必ず約束を果たす方ですが、私たちが望む方法やタイミングでそうするとは限りません。ユダの子孫からイスラエルを導く王が現れるまでには時間がかかりました。その間イスラエルを導いた人の中には、レビ族のモーセ、エフライム族のヨシュア、ベニヤミン族のサウル王がいました。でも、ユダ族の人たちはエホバから任命された人を支持し続けました。私たちも、エホバが教え導く役割を与えてる人に心から協力しましょう。（ヘブ6:12 忘けたりせず、信仰と辛抱のゆえに約束のものを受けた人に倣ってほしいのです。）

19. ヤコブの臨終の預言から、エホバについてどんなことが分かりますか。

19 ヤコブの臨終の預言からどんなことを学べたでしょうか。「人間の見方と神の見方は違う」ということです。（サム一 16:7 しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る。」）エホバはとても辛抱強く、快く許す方です。悪い行いを大目に見ることはありませんが、私たちに完璧を求めたりはしません。たとえ私たちが大きな間違いをしたとしても、心から反省して正しいことをしようと努力するなら、喜んでくれます。次の記事では、ヤコブがほかの8人の息子に語った言葉を考えます。

ヤコブが息子に語った言葉からどんなことを学べますか

1. ルベン

・S08 私たちは間違った欲望と闘い、性的に不道徳なことを一切避ける必要がある。誘惑に負けそうになつたら、エホバや家族や周りの人をどれほど悲しませることになるのか、よく考える。エホバは私たちが何か良くないことをした時、そのつらい結果を味わわないので済むように守つたりしないが、私たちが正しいことをしようと努力するなら、エホバは許して必ず支えてくださる

2. シメオン、レビ

・S12 怒りに任せて行動することができないようにする。自分や家族がひどい扱いを受けると、怒りを感じるのは自然なことでも、腹立ち紛れに何かを言ったりしたりすることをエホバは喜ばれない。周りの人や兄弟姉妹から理不尽なことをされても、聖書が教えている通り、怒りをコントロールすれば、感情的になって相手を傷つけるようなことをしないで済む。

3. ユダ

・S17 エホバはユダの良いところを見ていたように、いつも人の良いところを見ている。私たちも同じようにしよう。

・S18 エホバは必ず約束を果たす方だが、私たちが望む方法やタイミングでそうするとは限らない。ユダの子孫からイスラエルを導く王が現れるまでユダ族の人たちはエホバから任命された人を支持し続けた。私たちも、エホバが教え導く役割を与えている人に心から協力する。

124 番の歌 携るぎない愛

△（創 49:1）ヤコブは息子たちを呼んで、言った。「みんな集まりなさい。最後の日々にあなたたちに起きる事柄を話そう。

△（創 47:28）ヤコブはエジプトで17年生きた。ヤコブの生涯は147年だった。

△（創 49:28）イスラエルの12部族がこれらの人から生まれた。父は彼らのために祝福を願い求めた時に以上の事柄を語った。一人一人にふさわしい祝福だった。